

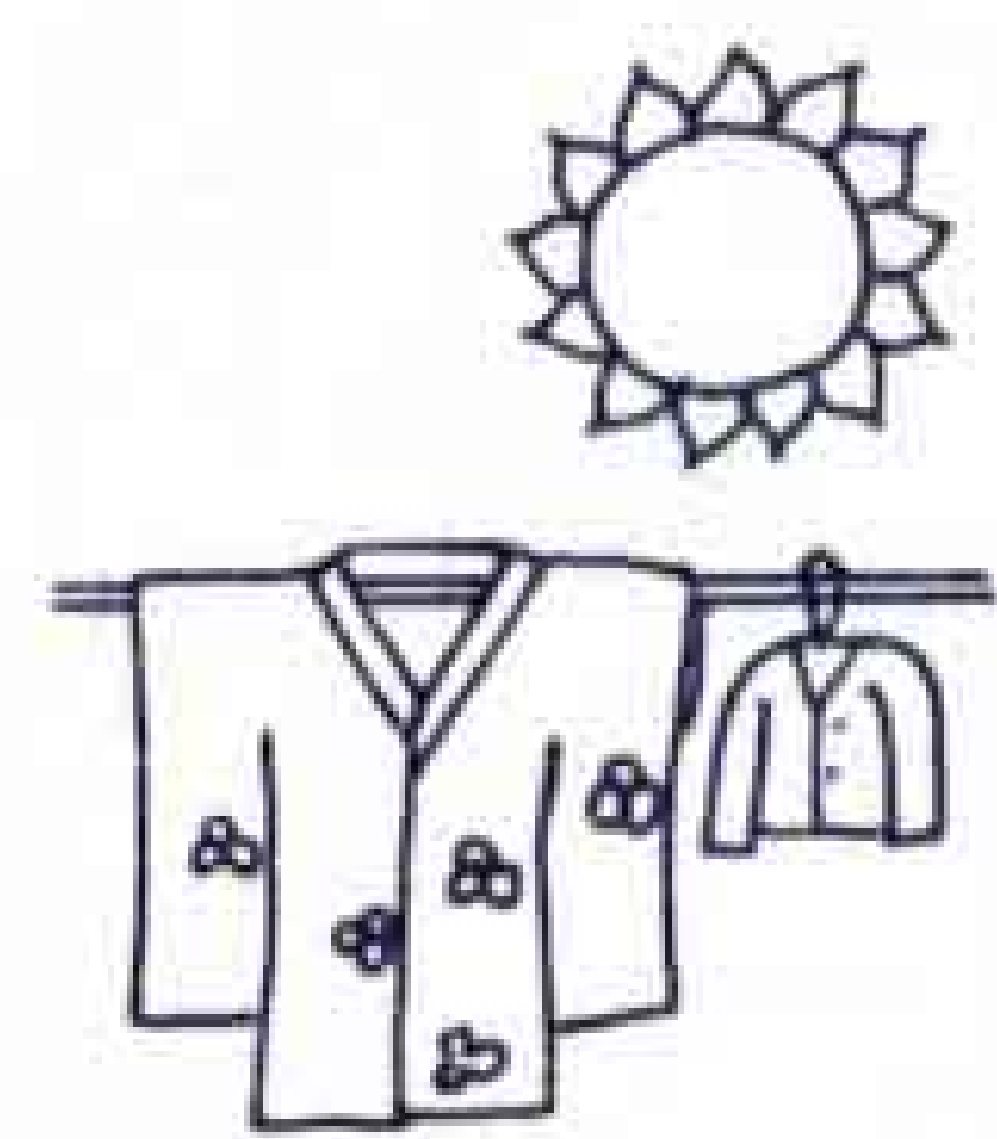
くらしのちえ

●きもの手入れ

秋は、きものおしゃれを楽しみたい季節です。着たあとの手入れをきちんと……。まずぬいだら和服用のハンガーに掛けて2~3時間カゼに当て、きものに含まれている湿気や、からだのぬくもりを取り除きます。ぬいですぐたたむと、布地が黄ばんだり、カビの原因になりやすいもの。風通しをしたら、ピロードの布で布目にそいながらホコリを落します。この布で拭くと、きものにツヤもでてきます。衿山、袖口、すそはベンジンで拭き取ってください。ドロはねは、よく乾かしてからブラシをかけ、軽くもんで落します。手入れがすんだら、きちんとたたんで、たとう紙に包み、衣装箱かタンに。防虫剤は、紙に包んで入れること。金糸や銀紙の刺しゅうの上に直接おくと、化学変化をおこして黒ずんでしまうのでご注意ください。



ょう。カラになった引出しや衣装箱は、中をきれいに掃除して、隅にたてかけて風を通します。干す時間は



午前10時~午後2時ごろまでが最適。風がよく通り抜けるよう窓はあけ放しておくこと。干しながら

衣類を点検して、シミや汚れがあるときは手入れを。軽いカビはブラシをかけ、衿アカなどはベンジンで拭いてください。食べカスのシミは中性洗剤でおとします。干し終わったらブラッシングして、特にシワが目立つものはアイロンかけを。しもうときは防虫剤と防湿剤を忘れずに。

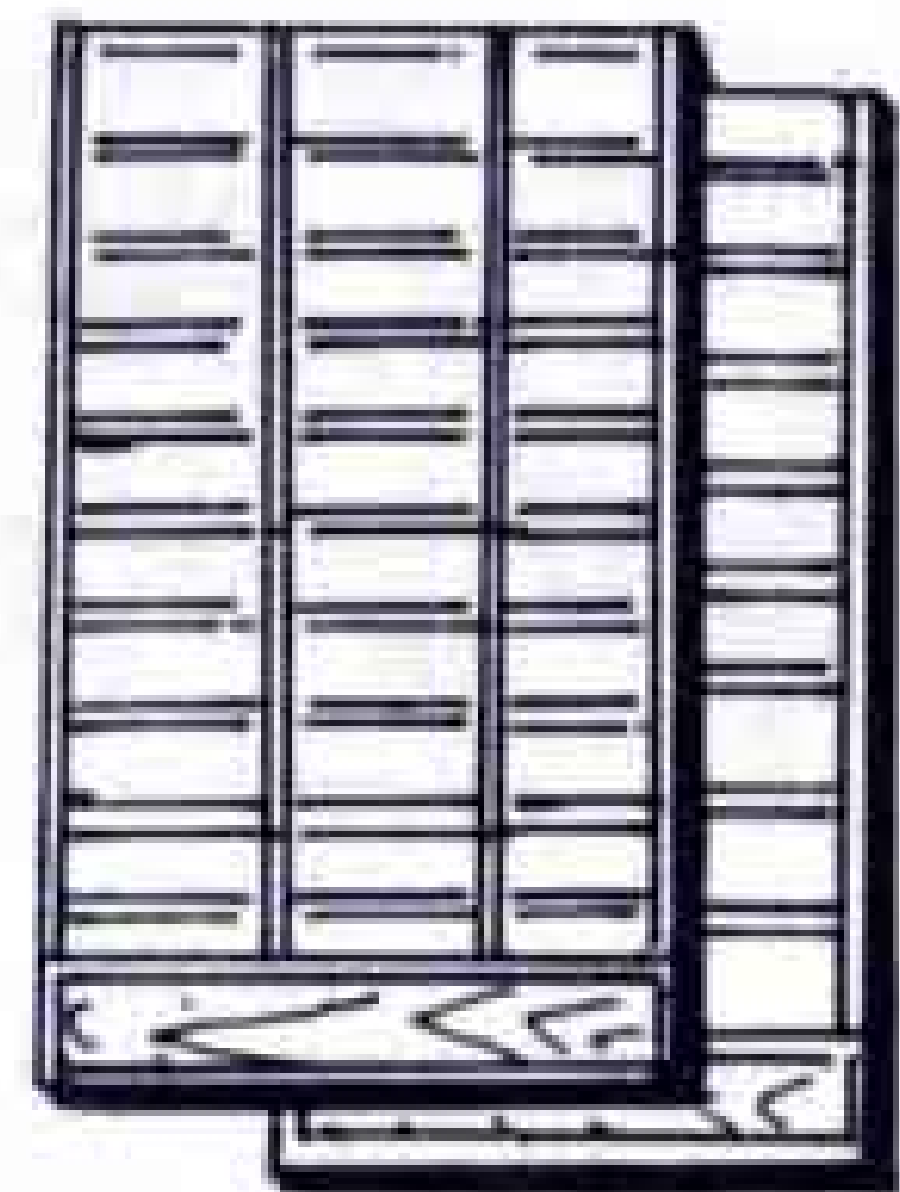
●障子の張りかえ

秋の気配を感じたら、さっそく障

子の張りかえを。コツさえのみこめば意外に簡単です。

①下準備……まず古い紙をはぎ、スポンジかハケに水を含ませて、裏側から棧と枠の部分に充分ぬらしておきます。下段から順にはがし汚れを落とし、よく陰干しを。

②上手な張り方……紙の合わせ目にホコリがたまらないよう、必ず下から張ります。障子をさかさに立て、うすくといた糊をハケでたたくようにつけ紙は巻いたままで左にころがしながら張り、左端はモノサシをあててカッターで切ります。最後に霧を吹いて仕上げます。乾くとピンとなります。



第7回 市福祉展

10月¹⁸/₁₉日・文化センターで開く

第7回市福祉展が10月18、19日の2日間、富士文化センターで開かれます。この福祉展に出品される作品は、書、絵画をはじめ写真、和歌、俳句、木工品、竹細工、手芸、盆栽などです。出品者は、市内に住んでいる60歳以上のおとしよりと身体障

害者、精神薄弱者、未亡人で当日は日ごろ丹精をこめてつくった力作ばかりが展示されます。なお作品のしめきりは、10月11日までです。早目に市福祉事務所社会課、社会福祉センターへ申込んでください。

●虫干しのしかた

10月の半ば過ぎ、いくらか風のある晴天続きの日をえらんで干してください。洋服はハンガーに、和服はひろげてロープにかけるといいでし

10月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください

■10月2日

外科 宮下医院(平垣 61-0376)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■10月9日

外科 榎村医院(柚木 63-8881)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■10月10日

外科 田辺医院(本市場 61-8410)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■10月16日

外科 松本医院(久沢 71-2570)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

■10月23日

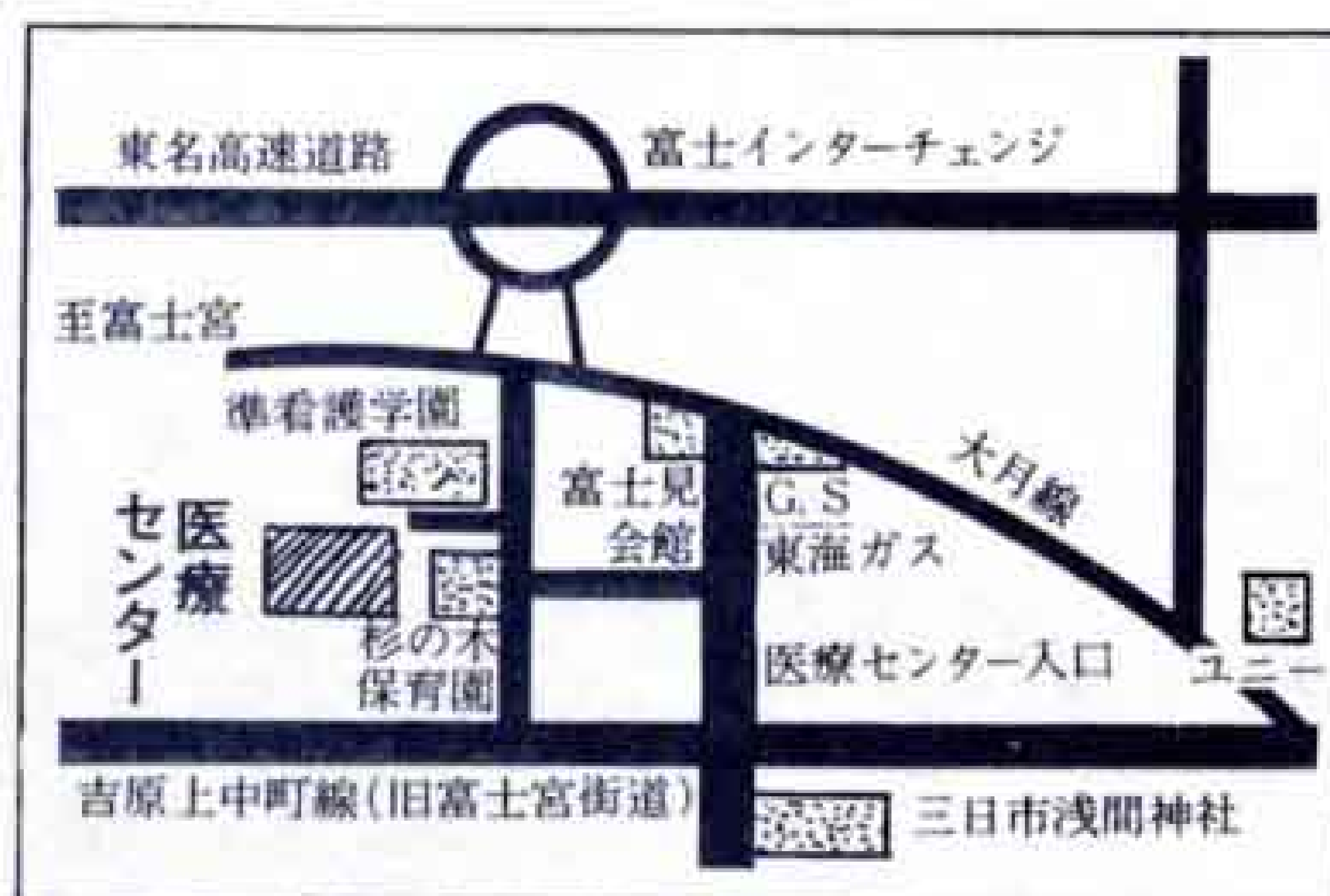
外科 中央病院(本市場 61-8800)
清河医院(広見町6 52-6212)
産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

■ 30日

外科 吉原病院(南町 52-0780)
石川医院(浅間本町 52-1985)

産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。